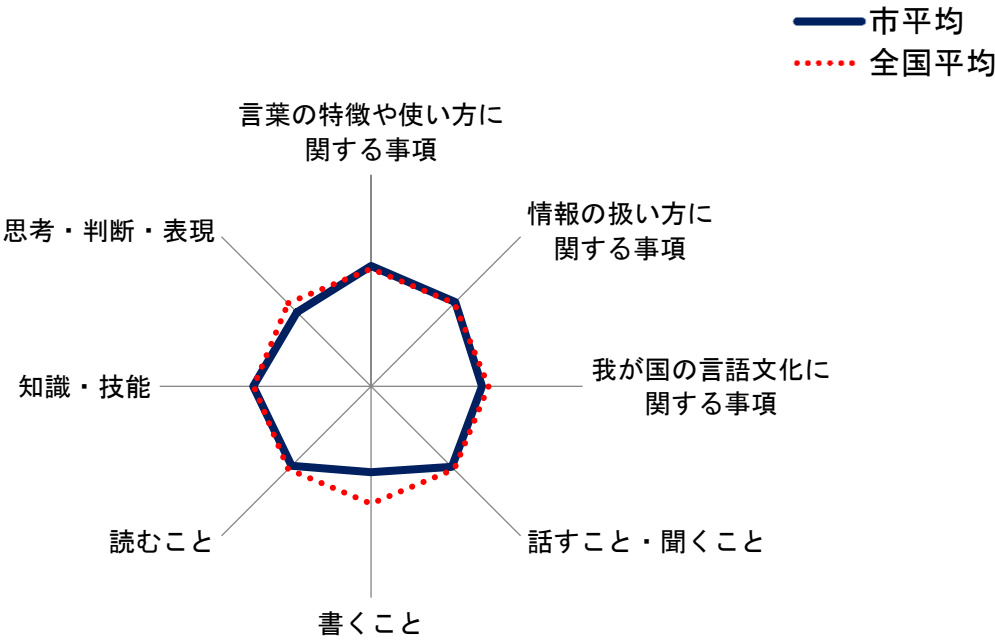
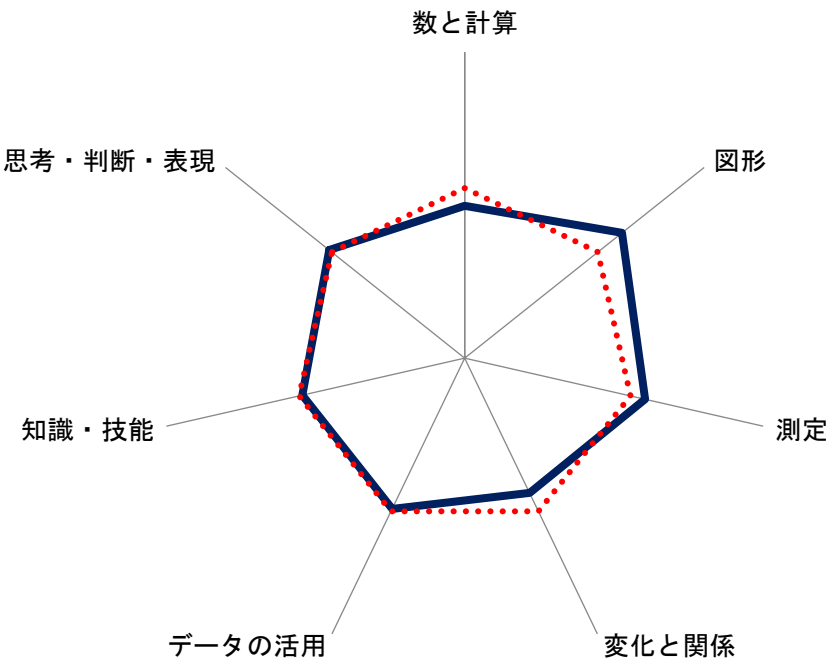


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

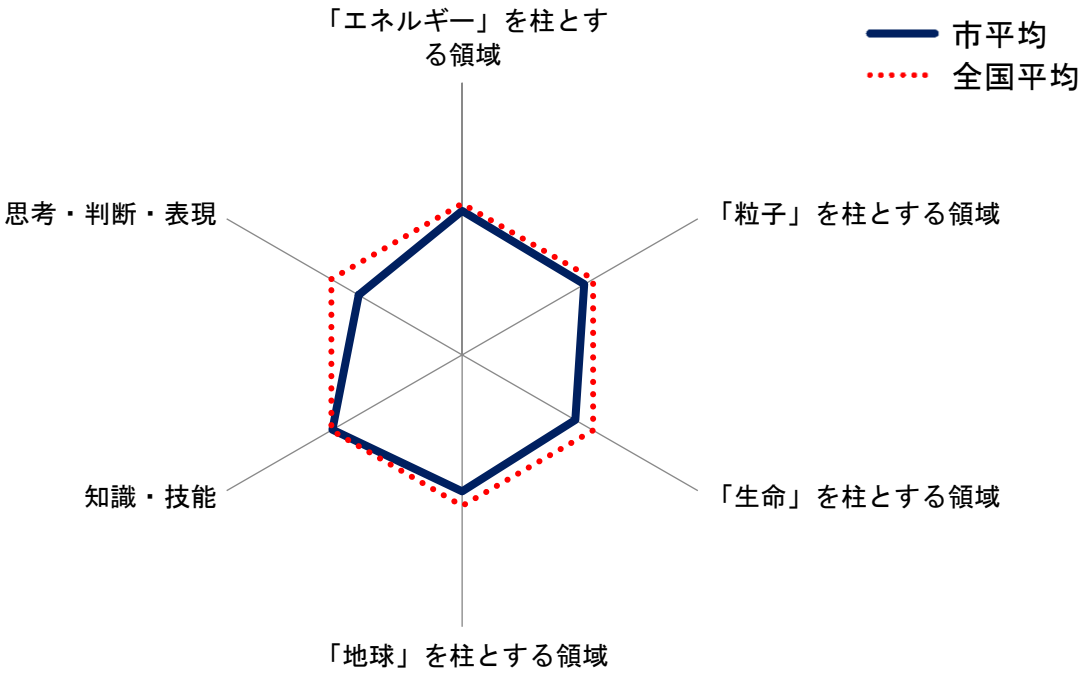


【算数】

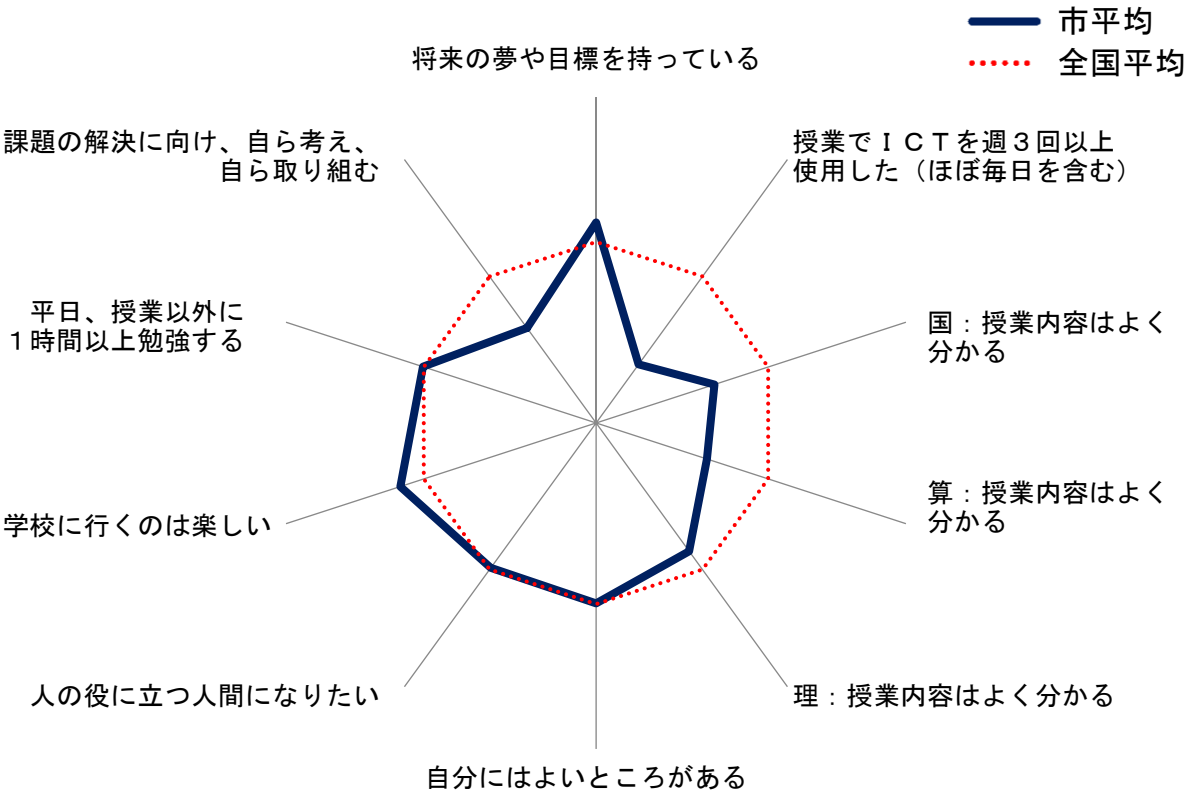


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数の「図形」の項目は全国平均を大きく上回っているものの、国語、算数、理科のほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか下回っている。特に国語の「書くこと」の項目や理科の「思考・判断・表現」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後は、根拠を明確にして書く活動や問題解決的な学習活動を充実させ、思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善をより一層推進することが望まれる。

児童質問調査では、「学校に行くのは楽しい」の項目が全国平均を上回っており、昨年度から改善が見られた。また、「将来の夢や目標を持っている」の項目は、良好な結果が続いており、キャリア教育の充実に向けた取組の成果がうかがえる。一方、「授業でICTを週3回以上使用した」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」、国語や算数の「授業の内容はよく分かる」の項目は、全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に向けて、ICTを効果的に活用した授業実践の好事例を共有するとともに、児童が主体的に学びを進めることができる教育活動をより一層推進することが望まれる。